

VMware vSphere 5.1 の新機能

vSphere 5.1 は、VMware が開発した業界をリードする仮想化プラットフォームの最新リリースです。本リリースには、次の新機能や機能拡張が含まれています。

コンピューティング

- **大規模な仮想マシン**：以前のリリースの 2 倍の規模にまで仮想マシンを拡張できるため、高負荷なアプリケーションのサポートも可能となります。仮想マシンには、最大 64 個の仮想 CPU (vCPU) と、1 TB の仮想メモリ (vRAM) を搭載できます。
- **新しい仮想マシン フォーマット**：vSphere 5.1 の仮想マシンフォーマット (バージョン 9) の新機能には、大規模な仮想マシン、CPU パフォーマンス カウンタ、およびパフォーマンスを強化するためのグラフィックス アクセラレーションの仮想化のサポートがあります。

ストレージ

- **仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) 向けの使用効率と柔軟性に優れたストレージ**：新しいディスク フォーマットの採用により、仮想デスクトップのストレージの使用を効率化し、I/O スループットを適切に調整できるようになりました。

ネットワーク

- **vSphere Distributed Switch**：ネットワーク健全性チェック、構成のバックアップとリストア、ロールバックとリカバリ、LACP (Link Aggregation Control Protocol) のサポートなどの機能が拡張され、これまでより優れたエンタープライズ クラスのネットワーク機能や、より堅牢なクラウド コンピューティングの基盤を提供します。
- **SR-IOV (Single Root IO Virtualization) のサポート**：SR-IOV のサポートにより、高度なアプリケーションのパフォーマンスを最適化します。

可用性

- **vSphere vMotion®**：共有ストレージを用意しなくても、ダウンタイムなしで移行可能な vMotion のメリットを活用できます。この新しい vMotion の機能は、ネットワーク全体に適用されます。
- **vSphere Data Protection**：シンプルで費用対効果に優れた仮想マシンのバックアップとリカバリ機能を提供します。vSphere Data Protection は、EMC Avamar テクノロジー ベースの新機能です。管理者は組み込みのデデュープ (重複排除) 機能により、エージェントを使用せずに仮想マシンのデータをディスクにバックアップできます。これは、vSphere の以前のリリースに含まれていた vSphere Data Recovery に代わる機能です。
- **vSphere Replication**：LAN または WAN 経由で、アレイに依存しない効率的な仮想マシン データのレプリケーションが可能になります。vSphere Replication では、仮想マシン レベルのレプリケーションと、最短 15 分で可能な RPO (目標復旧ポイント) を実現できるため、管理が簡素化されます。

- **ダウンタイムなしの VMware Tools のアップグレード**：

バージョン 5.1 で提供される VMware Tools にアップグレードした後は、VMware Tools のアップグレードの際の再起動は不要になります。

セキュリティ

- **VMware vShield Endpoint™**：クラウドに対応したシンプルかつ効率的な方法で、実績のある端末セキュリティ ソリューションをあらゆるワークロードに提供します。vShield Endpoint では、サードパーティ製の端末セキュリティ ソリューションのエージェントを仮想マシンにインストールせずに、セキュリティ仮想アプライアンスにその機能をオフロードし、影響を最小にしながらスキャンを実行できます。

自動化

- **vSphere Storage DRS™ と Profile-Driven Storage**：新たに VMware vCloud® Director™ と連携したことで、ストレージの効率性が向上し、プライベート クラウド環境での自動化が可能となりました。
- **vSphere Auto Deploy™**：新しい vSphere ホストを環境内に展開するために 2 つの新しい手法が採用されており、Auto Deploy プロセスの可用性がさらに向上しています。

vCenter Server を使用した管理

- **vSphere Web Client**：vSphere の主要管理インターフェイスです。この柔軟で堅牢な新しいインターフェイスでは、ショートカット ナビゲーションによる簡単な操作、カスタムのタグ付け、スケーラビリティの拡張により、vSphere の管理を簡素化します。また、Internet Explorer や Firefox 対応のデバイスを使用して、あらゆる場所から管理できます。
- **vCenter Single Sign-On**：ユーザーが一度ログインすると、追加認証なしで vCenter Server のすべてのインスタンスまたはレイヤーにアクセスできるため、vSphere の管理が大幅に簡素化されます。
- **vCenter Orchestrator**：vCenter Server へ強力なワークフローエンジンを容易にインストールして構成できます。新しく設計されたワークフローは容易に使用でき、新しい vSphere Web Client から直接起動することもできます。

詳細情報

vSphere 5.1 へのアップグレードについては、vSphere アップグレードセンターを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/upgrade-center/overview.html>

vSphere は、新しい VMware vCloud Suite にも含まれています。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/datacenter-virtualization/vcloud-suite/overview.html>